

# 当期の 事業活動に ついて

第113期 決算を終えて  
平成26年3月1日から平成27年2月28日まで

特集

サロンパス®発売80周年

## 久光製薬の源流 「田代売薬」を訪ねる

トピックス

日米で貼付剤の新効能を追加承認

「フェントス®テープ」が慢性疼痛に有効  
日本国内で効能追加承認を取得

血管運動症状治療薬「Minivelle®」が  
米国で骨粗鬆症予防薬として承認

 **Isamitsu®**

# TOPICS

トピックス

## 日米で貼付剤の新効能を追加承認

近年、貼付剤に対する追加承認が進んでおり、「貼る治療」の広範な効能・効果があらためて注目を集めています。ここでは昨年、日米で取得した2つの追加承認を振り返りました。

### 「フェントス®テープ」が慢性疼痛に有効 日本国内で効能追加承認を取得

経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」は、各種がんの鎮痛に用いられる貼付剤です。本剤は平成26年6月、「慢性疼痛」の効能追加に関する承認を厚生労働省より取得しました。当社は承認取得にあたり、本剤を1日1回投与した際の中等度から高度の慢性疼痛を対象とする臨床試験を行い、有効性と安全性を確認しました。

「フェントス®テープ」は、平成22年6月から協和発酵キリン株式会社との共同販売を展開しています。引き続き適切な情報提供を行い、患者さんと医療現場を支えてまいります。

### 血管運動症状治療薬「Minivelle®」が 米国で骨粗鬆症予防薬として承認

ノーベン社は平成26年9月、血管運動症状治療薬「Minivelle®」（エストラジオール経皮システム）の新用量において、FDA（米国食品医薬品局）から効能・効果の承認を取得しました。承認された0.025mg/日の「Minivelle®」は、世界最小のエストロゲン貼付剤です。

「Minivelle®」は、一般的にのぼせとして知られている、閉経に起因する中等度から高度の血管運動症状（VMS）の治療に適応されています。新たに0.025mg/日の低用量製剤が承認され、VMS治療のために「Minivelle®」を使用する女性は、骨粗鬆症予防の手助けも得られることになりました。

#### ■ 将来予想に関する記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与える要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。

## 第113期決算のご報告

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第113期（平成26年3月1日～平成27年2月28日）の営業の概況と決算につきましてご報告いたします。

国内の営業状況は、薬価引き下げと後発品使用促進策の影響を受けた医療用医薬品事業が減収となる一方、一般用医薬品事業は、主力の「サロンパス®」や新商品を投入した「フェイタス®Z」シリーズを中心に売上を伸ばしました。

海外の営業状況は、「Minivelle®」「Brisdelle®」など医療用医薬品の主力商品が売上を大幅に拡大しました。また一般用医薬品も、広告宣伝活動を強化したアメリカでサロンパスブランドが貼付剤市場における販売額シェアNo.1を獲得するなど、全般的に好調に推移し、増収を果たしました。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高1,567億4千3百万円（前期比4.1％増）、営業利益205億2千7百万円（同7.3％増）、経常利益284億8千9百万円（同1.5％減）、当期純利益187億8千4百万円（同12.0％減）となりました。

なお当社は、平成27年5月21日開催の第113回定時株主総会ならびに取締役会によりご承認いただき、前代表取締役社長執行役員 中富博隆を代表取締役会長最高経営責任者（CEO）に、前取締役副社長執行役員 中富一榮を代表取締役社長最高執行責任者（COO）に選任いたしました。新経営体制のもと、事業のさらなる発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役会長  
最高経営責任者（CEO）  
中富 博隆

代表取締役社長  
最高執行責任者（COO）  
中富 一榮

## CONTENTS

トピックス……………	1	配当金について……………	9
第113期決算のご報告……………	2	連結決算ハイライト……………	10
特集 —サロンパス発売80周年— ……	3	連結財務諸表（要約）……………	11
商品展開……………	5	会社の概況／株式情報……………	13
スポーツ・文化振興……………	6	インフォメーション……………	14
事業の概況……………	7		



# 久光製薬の源流「田代売薬」を訪ねる

サロンパス発売80周年  
80th Anniversary  
サロンパス®

久光製薬発祥の地である佐賀県鳥栖市東部は、地名を田代と言い、富山や大和(奈良)、近江(滋賀)と並んで配置売薬業が発達した土地です。当社の前身「小松屋」は、その田代売薬の一業者として弘化4年(1847年)、初代久光仁平により創業しました。田代売薬の歩みを辿ってみましょう。

## ◆家庭に薬を届けた配置売薬

配置売薬は、個人宅を訪ねて商品である薬を預け、その半年後から1年後に再訪問し、使用された薬の料金のみを集金するという販売方式で、日本独特のものとされています。先に用いて後から利益を得る「先用後利」で顧客の信頼を築く商法です。

あらゆる地域に医療施設がある現在と異なり、国内経済が成長し始める1960年代までは、家庭の常備薬が第一の治療手段で、配置薬には大きな需要と社会的意義がありました。

配置薬を販売する行商人は「くすり屋さん」と呼ばれ、多くの訪問先で慕われる存在でした。くすり屋さんが相談役となり、時には縁談をまとめることもあったそうです。庶民が旅をする機会が多くなかった江戸時代には、くすり屋さんが各地の人々に遠来の情報や文化を運ぶ役割も担っていたのでしょう。



大正時代のくすり屋さん  
(配置薬販売員)



配置売薬は柳行李(やなぎごうり)に入れて運びました

くすり屋さんは、訪問先の家庭への土産として、子供に紙風船、主婦に玉杓子、上得意には錦絵といった「おまけ」を提供していました。また年の暮れには、主力商品や屋号の入った曆(カレンダー)を広告宣伝ツールとして配布するなど、商売にさまざまな工夫を採り入れていました。

## ◆田代売薬から「貼り薬」の町へ

田代で配置売薬が発達した要因として、交通の要衝であったことが挙げられます。田代は、長崎と小倉を結ぶ長崎街道沿いに位置し、熊本や鹿児島に続く薩摩街道ともつながっています。宿場町として栄え、各地から物や情報が集まりました。

田代は他の地域の売薬と異なり、主力商品を「貼り薬」に特化させ、その生産に重点を置いたことで、後に「貼り薬」の町へと発展していきました。田代売薬の一業者だった小松屋も、こうした流れの中で成長し、今日の久光製薬となったのです。



鳥栖市田代上町 八坂神社にある案内板(長崎街道田代宿)



旧街道と田代宿の位置

## ◆明治時代の配置売薬規制

明治時代に入ると、配置売薬業は政府の規制下に置かれ、明治10年(1877年)に制定された「売薬規則」により、売薬業者には営業税と鑑札料(配置薬を販売するための免許料)の支払いが義務付けられました。

さらに明治15年(1882年)には、売薬印紙税が定められ、定価の1割の印紙税が課せられるとともに、製薬を主とする売薬営業者、販売のみの請負業者、配置する売薬人の区分が明確化されるなど、厳しさが増しました。

## ◆奇神丹®と朝日万金膏®

小松屋2代目の久光与一は、明治4年(1871年)に屋号を久光常英堂と改め、健胃清涼剤「奇神丹®」を発売しました。「奇神丹®」は、日清戦争に出兵する軍人への販売を機に、軍用薬に指定されました。

明治36年(1903年)、3代目の久光三郎(後に中富三郎)が久光兄弟会社として法人化し、和紙に膏薬を延ばした「朝日万金膏®」を作り出します。明治末期には、機械(ロール式展膏機)の導入により「朝日万金膏®」の大量生産が始まり、販売網は全国へ広がっていきました。



奇神丹®



朝日万金膏®

## ◆朝日万金膏®からサロンパス®へ

販路拡大により全国の商品となった「朝日万金膏®」は、薬剤の匂いと肌に残る黒い貼り跡が課題となっていました。その課題を改良すべく研究を重ね、昭和9年(1934年)に開発されたのが、清潔な白色で爽やかな匂いの「サロンパス®」です。誕生から80年を経て今日に至るまで、ロングセラー商品として多くの皆様にご愛用いただいています。

江戸時代の昔に発祥した田代売薬は、製薬業として佐賀県の3大産業(製薬、農、窯)の一つに発展しました。その礎を築いた人々の精神を当社はこれからも引き継いでまいります。



昭和9年サロンパス®誕生時のパッケージ



### 80周年記念キャンペーン「サロン・ド・サロンバス」

キャラバンイベントが全国を周遊、CMの世界観も再現

昭和9年(1934年)の「サロンパス®」発売から80年目を迎えた平成26年は、北海道から九州まで、全国9カ所の会場を周遊する記念キャンペーン「サロン・ド・サロンバス」を実施しました。



各地の会場で注目を集めたのは、人気アイドル二宮和也さんを起用した「サロンパス®」TVCMのイメージをそのまま設えたオリジナルバス。商品ラインナップや80年の歩みの紹介、希望者にサンプルの配布とともに「サロンパス®」の魅力を伝え、国民的商品としての存在感をあらためて印象付けました。

### 「フェイタス®5.0温感」

心地よい刺激が持続、大判も登場

新発売の「フェイタス®5.0 温感」「フェイタス®5.0 温感 大判サイズ」は、鎮痛消炎成分であるフェルビナクとメントールの濃度を高め、貼付時の刺激感を強化しました。さらにノニル酸ワニリルアミドと血行促進効果のあるビタミンEの配合により、心地よい温感刺激が持続します。また、全方向に伸縮し、フィット感も優れています。



### 「ライフセラ®ダーマボーテ®」

保水力はヒアルロン酸の5倍！

ライフセラ®ブランドは、乾燥や乾燥による小じわに効果を発揮し、ふっくらとハリのある肌へ導くスキンケア化粧品「ライフセラ®ダーマボーテ®」を発売しました。ヒアルロン酸の5倍の保水力を持つサ克蘭®の配合により、肌表面の水分を閉じ込めて長時間の保湿を維持し、肌のバリア機能を健康な状態に整えます。



エッセンス

美容液マスク

### 女子バレー 天皇杯・皇后杯3連覇！

久光製薬スプリングスが4度目の優勝

中田久美監督による指揮のもと、快進撃を続ける久光製薬スプリングスは、平成26年12月14日に東京体育館で行われた「平成26年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会」の決勝で日立リヴァーレを3-0のストレートで下し、見事



王座に輝きました。天皇杯・皇后杯は3年連続、4度目の優勝です。

日立リヴァーレとの対決は、序盤から久光製薬スプリングスが優位に攻め、第1・第2セットを奪取。第3セットは一時逆転を許して接戦となったものの、25-23で勝利を決めました。

今シーズンもさらなる躍進を目指す久光製薬スプリングスに、引き続き熱いご声援をお願い申し上げます。



### 東西2大マラソン大会に協賛

筋肉ケアやランニング講座を実施

平成26年は「東京マラソン2014」(2月23日開催)、「大阪マラソン2014」(10月26日開催)の東西2大マラソンに協賛し、「エアー・サロンパス®ジェットα」による筋肉疲労のケア支援を行いました。また、EXPOブースでは、ステージを設置し、完走を目指すランニング講座などを行いました。



### カルチャー・スペシャル公演

蜷川幸雄氏演出「海辺のカフカ」

世に通じる文化の継承をテーマに、優れた演劇をお届けする「久光製薬カルチャー・スペシャル」。13回目を迎えた平成26年は、村上春樹原作・蜷川幸雄演出による「海辺のカフカ」を全国4カ所で上演しました。原作の世界観を美しく壮大に舞台化し、大きな話題となりました。



# 事業の概況

## 当期の概況

### 医療用医薬品事業

**医** 療費抑制策が進む中、先行きが不透明な環境下で推移しました。

このような状況の中、当社は、経皮吸収型製剤を中心として、医療機関への適正かつ、きめ細やかな学術情報活動、すなわち有効性・安全性に関する情報の提供・収集活動を展開するとともに、重点商品のケトプロフェン含有の経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ」および「モーラス®パップ」、経皮吸収型エストラジオール製剤「エストラーナ®テープ」、鎮痛効果の高い合成麻薬フェンタニルクエン酸塩含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」、経皮吸収型持続性疼痛治療剤「ノルスパン®テープ」、オキシブチニン塩酸塩含有の経皮吸収型過活動膀胱治療剤「ネオキシ®テープ」などの適正使用促進活動に努めました。

平成26年5月には、経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ」において、初めて腰痛症と関節リウマチにおける関節局所の鎮痛の適応症を持った経皮鎮痛消炎剤として承認されたことなどが科学技術的に秀でた進歩性を有する発明であると高く評価され、平成26年度全国発明表彰において特許庁長官賞を受賞しました。

平成26年6月には、経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」の慢性疼痛効能追加に関する承認を取得しました。

平成26年10月には、経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ」および「モーラス®パップ」、経皮吸収型気管支拡張剤「ツロブテロールテープ「HMT」」が、患者さんの視点に立った商品開発への取り組み、特に、袋からとり出しやすい、貼りやすいなどの使いやすさが評価され、2014年度グッドデザイン賞を受賞しました。

### 一般用医薬品事業

**重** 点商品の外用鎮痛消炎剤などの販売に加えて、新商品を投入し、新規顧客創造活動に努めました。

平成26年3月には、水虫・たむし治療薬「ブテナロック®Lパウダーゲル」、平成26年7月には、ジクロフェナクナトリウム2.0%配合の経皮鎮痛消炎テープ剤「フェイタス®Zジクサス®」および「フェイタス®Zジクサス®大判」、平成26年9月には、ヒアルロン酸の5倍の保水力を持つサクラン®配合スキンケア化粧品「ライフセラ®ダーマボーテ®」とフェルビナク5.0%配合の経皮鎮痛消炎テープ剤「フェイタス®5.0温感」および「フェイタス®5.0温感大判サイズ」の販売を開始し、新たな顧客の開拓に努めました。

なお、当連結会計年度は、重点商品の「サロンパス®」発売80周年にあたり、様々なプロモーション活動を実施しました。

「サロンパス®」の歴史なども記載した「学研まんがでよくわかるシリーズ 貼り薬のひみつ」を制作し、全国の小学校及び公立図書館に寄贈しました。

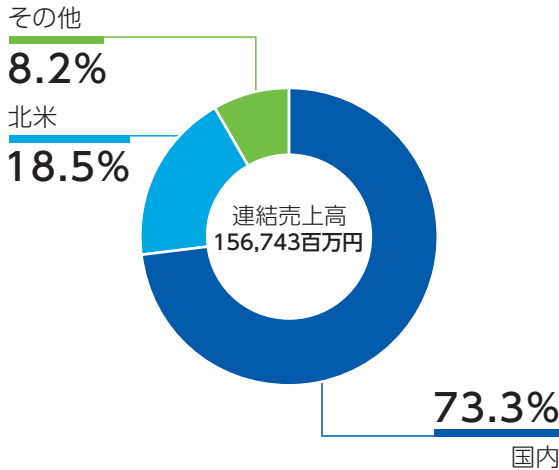
### 海外事業

**医** 療用医薬品において、平成26年9月には、経皮吸収型エストラジオール製剤「Minivelle®」が、新たな用量となる0.025mg及び新たな効能効果となる閉経後骨粗鬆症に関し、FDA（米国食品医薬品局）から追加承認を取得しました。

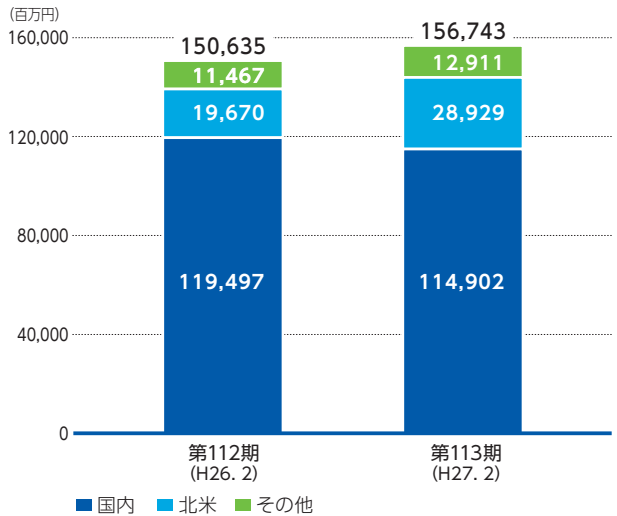
本剤は、FDA（米国食品医薬品局）が承認した世界最小の経皮吸収型エストラジオール製剤です。

また、一般用医薬品において、積極的な販売促進活動を展開し、サロンパスブランドが、米国の一般用医薬品外用鎮痛消炎貼付剤市場における販売額シェア1位を獲得しました。

地域別売上高構成比



地域別売上高の推移



## 次期の見通し

**次** 期の見通しについては、医療費抑制策の影響や企業間競争の激化など引き続き厳しい事業環境が続くと予想されており、当社グループでは次のように取り組んでいきます。

医療用医薬品については、医療機関への学術情報活動を一段と強化するとともに、国内外で医療機関・患者の皆様のニーズに合致した新しい局所性及び全身性の医薬品開発を目指します。

一般用医薬品については、重点商品の外用鎮痛消炎剤の売上伸長を図るとともに、お客様の多種多様なニーズにお応えできるよう既存商品の改良及び新商品

の開発を推進します。

海外の事業展開については、商標、意匠、製造技術及び品質管理システムを含めた当社ブランドの確立を図るとともに、海外生産工場の一層の充実と海外における臨床試験の促進を図ります。

次期の業績予想については、売上高1,643億円（前年同期比4.8%増）、営業利益274億円（同33.5%増）、経常利益285億円（同0.0%増）、当期純利益183億円（同2.6%減）を見込んでいます。

### 利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を最重要課題と認識し、安定的な配当の継続を基本と考えています。

このほか、株主の皆様への有効な利益還元策として、自己株式取得などの財務諸施策を機動的に遂行します。

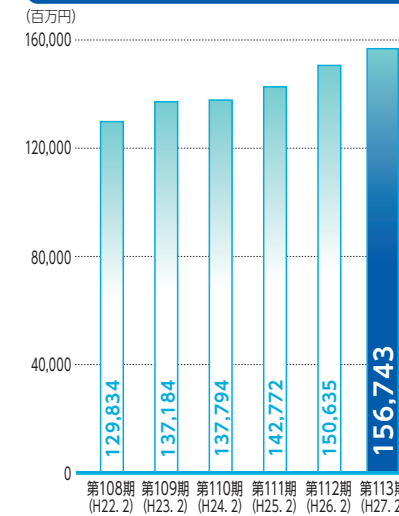
内部留保資金については、研究開発の推進、生産設備の拡充および海外事業の

展開などに重点的に投資し、経営基盤の強化を図ります。

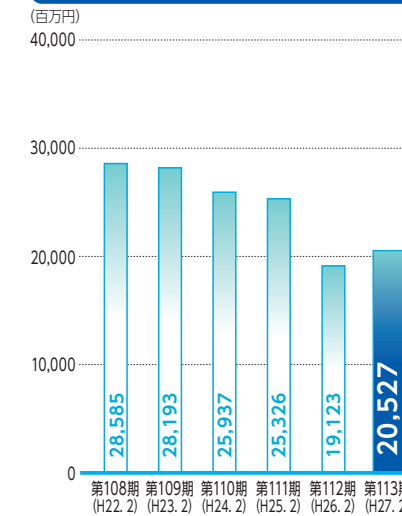
当期の配当は、期末配当金を1株につき42.5円とし、中間配当金37.5円とあわせて年間80円といたしました。

また、次期の配当につきましては、中間配当金40円、期末配当金40円とし、年間で1株につき80円を予定しています。

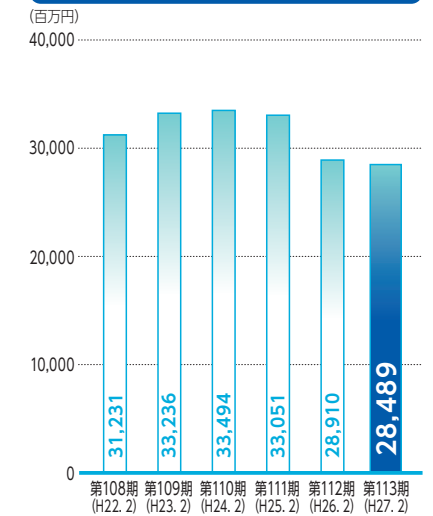
### 売上高



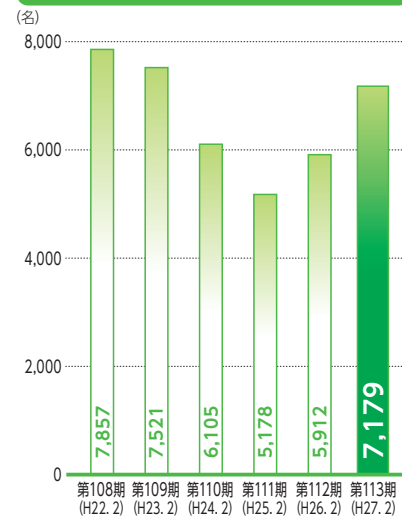
### 営業利益



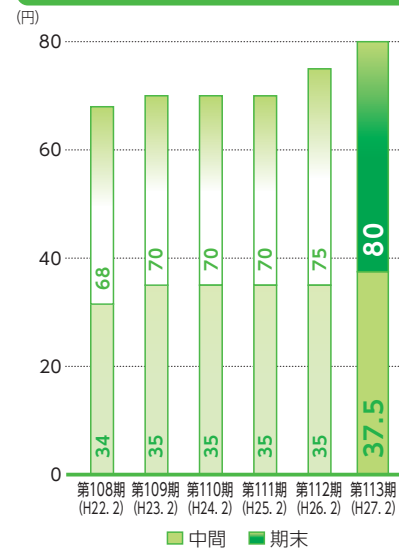
### 経常利益



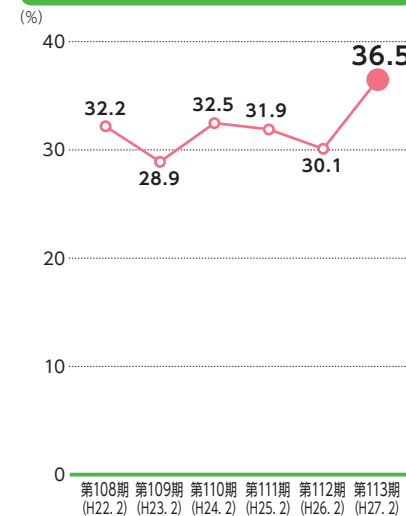
### 株主数の推移



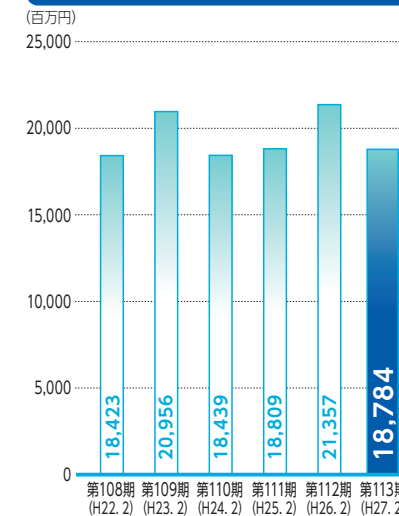
### 1株当たり配当金の推移



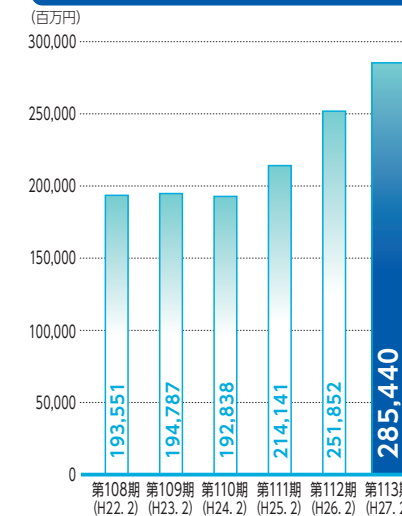
### 配当性向



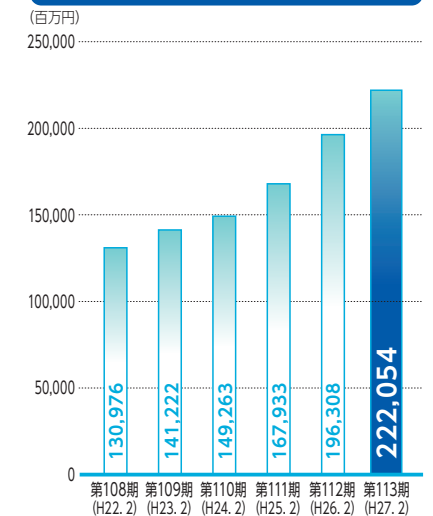
### 当期純利益



### 総資産



### 純資産





連結財務諸表（要約）

Point 1 資産

総資産は2,854億4千万円となり、前連結会計年度末と比べて335億8千7百万円増加しました。主な増減は、有価証券（97億3千8百万円増）、受取手形及び売掛金（94億9千4百万円増）及び投資有価証券（58億3千2百万円増）です。

Point 2 負債

負債合計は633億8千6百万円となり、前連結会計年度末と比べて78億4千1百万円増加しました。主な増減は、電子記録債務（22億9千7百万円増）、未払法人税等（33億7千5百万円減）及び繰延税金負債（34億7千4百万円増）です。

Point 3 純資産

純資産合計は2,220億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比べて257億4千6百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金（121億4千3百万円増）、その他有価証券評価差額金（64億7千6百万円増）及び為替換算調整勘定（67億3千7百万円増）です。

Point 4 売上高・営業利益・経常利益・当期純利益

売上高は前期と比べ61億8百万円増（4.1％増）、営業利益は14億4百万円増（同7.3％増）、経常利益は4億2千1百万円減（同1.5％減）、当期純利益は25億7千2百万円減（同12.0％減）となりました。

連結貸借対照表

（単位:百万円）

科 目	当期 (H27.2.28 現在)	前期 (H26.2.28 現在)
資産の部		
流動資産	165,315	139,107
固定資産	120,125	112,745
有形固定資産	45,003	43,330
無形固定資産	16,303	16,812
投資その他の資産	58,818	52,602
① 資産合計	285,440	251,852
負債の部		
流動負債	44,299	41,745
固定負債	19,086	13,799
② 負債合計	63,386	55,544
純資産の部		
株主資本	195,006	182,865
その他の包括利益累計額	26,016	12,577
少数株主持分	1,031	865
純資産合計	222,054	196,308
③ 負債純資産合計	285,440	251,852

連結損益計算書

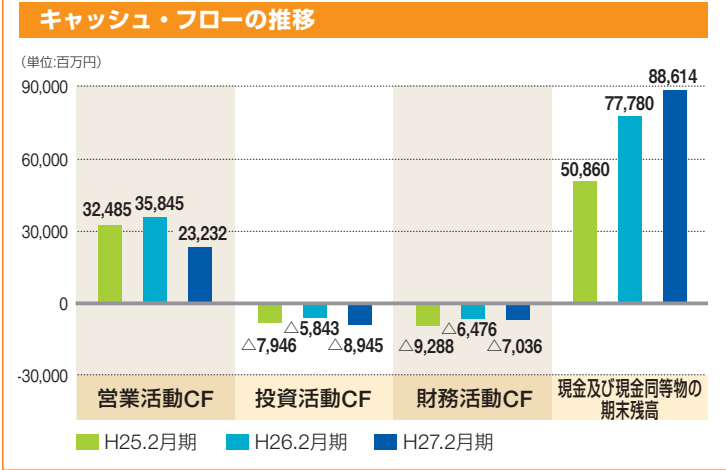
（単位:百万円）

科 目	当期 ( H26.3. 1 から H27.2.28まで )	前期 ( H25.3. 1 から H26.2.28まで )
④ 売上高	156,743	150,635
売上原価	57,063	55,471
売上総利益	99,680	95,163
販売費及び一般管理費	79,153	76,040
④ 営業利益	20,527	19,123
営業外収益	8,062	9,872
営業外費用	100	85
④ 経常利益	28,489	28,910
特別利益	1,012	5,108
特別損失	84	291
税金等調整前当期純利益	29,416	33,727
法人税等	10,431	12,166
少数株主損益調整前当期純利益	18,984	21,560
少数株主利益	200	203
④ 当期純利益	18,784	21,357

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科 目	当期 ( H26.3. 1 から H27.2.28まで )	前期 ( H25.3. 1 から H26.2.28まで )
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,232	35,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,945	△ 5,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,036	△ 6,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,582	3,394
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	10,833	26,920
現金及び現金同等物の期首残高	77,780	50,860
現金及び現金同等物の期末残高	88,614	77,780



Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益（294億1千6百万円）、利息及び配当金の受取額（107億1千1百万円）、法人税等の支払額（138億7千4百万円）などにより、232億3千2百万円の収入（前連結会計年度は358億4千5百万円の収入）となりました。

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出（46億9千1百万円）、投資有価証券の取得による支出（38億6千7百万円）などにより、89億4千5百万円の支出（前連結会計年度は58億4千3百万円の支出）となりました。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額（66億4千2百万円）などにより、70億3千6百万円の支出（前連結会計年度は64億7千6百万円の支出）となりました。

Point 8 現金及び現金同等物の期末残高

前連結会計年度末と比較して108億3千3百万円増加し、886億1千4百万円となりました。

# 会社の概況／株式情報 (平成27年2月28日現在)

## 会社の概要

創 業	弘化4年(1847年)
設 立	昭和19年5月22日
資本金	8,473,839,816円
従業員	2,942名
事業所	

当 社	東京本社	東京都千代田区丸の内2-4-1
	九州本社(本店)	佐賀県鳥栖市田代大官町408
	支店	札幌支店、仙台支店、東京第一支店、東京第二支店、東京第三支店、名古屋支店、京都支店、大阪第一支店、大阪第二支店、広島支店、高松支店、福岡支店、熊本支店、鹿児島支店、台北支店(台湾)、シンガポール支店
営 業 所	城東営業所、さいたま営業所、千葉営業所、横浜営業所、金沢営業所、神戸営業所	
工 場	宇都宮工場、鳥栖工場	
	研究所	筑波研究所、鳥栖研究所

子 会 社	国内	株式会社CRCCメディア(福岡県)、佐賀シティビジョン株式会社(佐賀県)、株式会社タイヨー(佐賀県)、九動株式会社(佐賀県)、久光エージェンシー株式会社(福岡県)
	海外	ヒサミツ ユーエス インコーポレイテッド(米国)、ヒサミツ アメリカ インコーポレイテッド(米国)、ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)、ヒサミツ ファルマセウティカド ブラジル リミターダ(ブラジル)、ヒサミツ ユーケー リミテッド(英国)、ヒサミツ バトナム ファーマシューティカルカンパニーリミテッド(ベトナム)、久光製薬技術諮詢(北京)有限公司(中国)、P.T.ヒサミツ ファルマ インドネシア(インドネシア)他4社

## 取締役及び監査役 (平成27年2月28日現在)

代表取締役社長	中 富 博 隆	取 締 役	鶴 田 敏 明
取締役副社長	中 富 一 栄	取 締 役	島 光 政
専 務 取 締 役	杉 山 耕 介	専 務 取 締 役	尾 信 一 郎
常 務 取 締 役	秋 山 哲 雄	常 務 取 締 役	藤 信 久 夫
常 務 取 締 役	肥 後 成 人	常 務 取 締 役	山 進 一

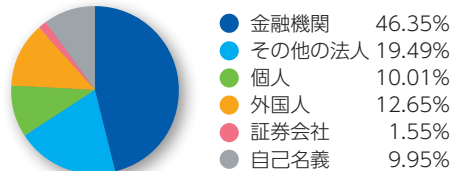
## 株式の状況

発行可能株式総数	380,000,000株
発行済株式の総数	95,164,895株
株主数	7,179名

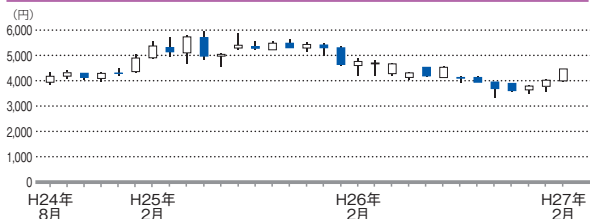
## 大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,927
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	4,387
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(リソな銀行再信託分・株式会社西日本シティ銀行退職給付信託口)	4,370
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,318
日本生命保険相互会社	3,910
株式会社福岡銀行	3,871
株式会社佐賀銀行	2,956

## 所有者別分布状況



## 株価の推移



(注) 監査役 小野桂之介、市川伊三夫及び徳永哲男は、社外監査役です。

# インフォメーション

事業年度	3月1日～翌年2月末日
定時株主総会	毎年5月に開催
配当金受領	2月末日
株主確定日	中間配当金を支払うときは、8月31日
基 準 日	定時株主総会の基準日は2月末日とします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告します。

公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所 各市場第1部及び福岡証券取引所
---------	--------------------------------

証券コード	4530
-------	------

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式に関するお問合せ先

**久光製薬株式会社 九州本社**  
総務部 株式課  
〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408  
TEL. 0942-83-2101 FAX. 0942-83-6119

## 商品に関するお問合せ先

**久光製薬株式会社 東京本社**  
お客様相談室  
**フリーダイヤル 0120-133250**  
受付時間 9:00～12:00  
13:00～17:50 (土日、祝日を除く)

## 株式に関するお手続きについて

### 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>住所・氏名等のご変更</li> <li>特別口座の残高照会</li> <li>配当金の受領方法の指定(※)</li> </ul>	特別口座の 口 座 管 理 機 関  三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711(通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日を除く)  【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管 理 人  三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711(通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日を除く)

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管 理 人  三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711(通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

## インターネットホームページ

最新の会社情報を当社ホームページに掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるようさらなる工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。

<http://www.hisamitsu.co.jp/>

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすく読みまちえに  
くくユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

**VEGETABLE OIL INK**

ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915





# 誕生

貼って、もっと、きもちいい。  
新しくなった **サロンパス**

肩こり・腰痛・筋肉痛に 第3類医薬品